

今、なぜ短歌なのか

—コロナ禍のなかの詩歌—

今、世界中がコロナ禍のなかにある。こういう時代に詩歌は何を表現しようとしているのだろうか。激変する世界を背景に、今をどう詠い、人間をどのように表現しているのだろうか。そのダイナミックな動きと多様な表現とを紹介しつつ、詩歌の今を考えてみたい。

—コロナ禍時代をどう詠い、表現するか。



【講師 Profile】

川野里子（かわのさとこ）

1959年大分県生まれ。千葉大学大学院日本文化研究科修士課程修了。歌集に『王者の道』（第15回若山牧水賞）、『硝子の島』（第10回小野市詩歌文学賞）、『歓待』（第71回讀賣文学賞）。評論集に『幻想の重量—葛原妙子の戦後短歌』（第6回葛原妙子賞）、『七十年の孤独—戦後短歌からの問い』など。

参加費無料

開催日

令和2年10月25日(日)
13:30~15:00

会場

放送大学
千葉学習センター 大講義室

定員

55名

【お問合せ先】

放送大学千葉学習センター

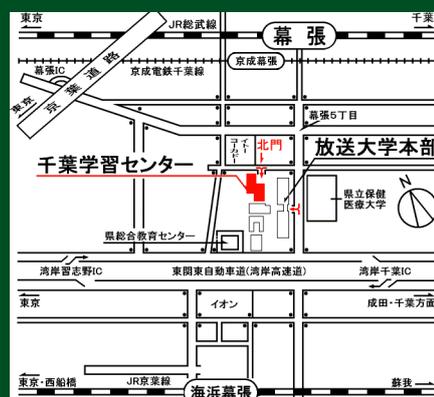
〒261-8586

千葉市美浜区若葉2-11

TEL : 043-298-4367

MAIL : chibagaku_soumu@ouj.ac.jp

後援 千葉市教育委員会



公開講演会参加申し込みシート

参加を希望される方は、下記の記入欄に必要事項を記入のうえ、**10月22日(木)まで**に必要事項を明記したファックスまたはE-mailを 043-298-4386 chibagaku_soumu@ouj.ac.jp宛にお送りください。

なお、新型コロナ感染拡大の状況により、会場での開催を中止し、ZOOMを使ったリモート開催をする場合がありますので、あらかじめご了承ください。リモート開催になった場合、前日までに視聴案内をお送りしますが、addressの登録がない方には、視聴案内が差し上げられません。

今、なぜ短歌なのか —コロナ禍のなかの詩歌—

参加希望者記入欄 2名様までご記入いただけます

フリガナ		
氏名		
自宅電話 または 携帯電話		
E-mail address		
○を付けて下さい	一般 ・ 放送大学生	一般 ・ 放送大学生

記載いただいた個人情報、本学にて厳重に管理し、来場者の把握及び本学からのご案内以外の目的には使用いたしません。また、第三者への開示・提供はいたしません。

定員超過で入場をお断りする場合以外には、受付登録に関するご連絡はいたしません。直接会場にお越しください。

今年度公開講演会開催予定 (詳細は個別のチラシをご覧ください)

2020年10月25日(日) 今、なぜ短歌なのか —コロナ禍のなかの詩歌—
2020年11月21日(土) きのこと日本人
2021年 未定 小惑星探査機「はやぶさ2」の挑戦とその成果
2021年 3月13日(土) 未定(小型哺乳類の発掘)

放送大学は放送を利用した通信制の大学ですが、全国の都道府県に学習センターがあります。学習センターの見学や個別の学習相談を希望される方は、お気軽に千葉学習センターにおいでください。学習センターは土、日曜日は開いていますが、祝日と月曜日が閉所日です。お電話でお確かめのうえお出かけください。



資料請求や出願はインターネットでも出来ます!

〒261-8586
千葉市美浜区若葉2-1-1
TEL 043-298-4367
FAX 043-298-4386
E-mail chibagaku_soumu@ouj.ac.jp